

編 集 後 記

イラン情勢が不安定な中、ホルムズ海峡の開放が難しく安定的な航海ができず、生活環境にも様々な影響をもたらしておりますが、早期に解決することを切に願っております。

「誌上ギャラリー」は、尊田和徳先生より「高瀬裏川花しょうぶ」と題した、川沿いに咲き誇った白や紫のきれいな花しょうぶの1枚が届きました。ありがとうございました。

「論説と話題」は、帆北理事、ウェレット理事より「日本医師会医療情報システム協議会」国が推進する医療DXと、それに対する日本医師会の取り組みについて、報告されております。今後は医療DX、オンライン診療の普及、維持に伴い私達も対応が必要かと思っております。山元理事からは、「第20回日本医師会男女共同参画フォーラム」と題してご投稿いただきました。ご一読下さい、ありがとうございました。

「医療トピックス」は、「第27回鹿児島保健医療圏地域医療構想調整会議」の内容が上ノ町会長より、報告されております。

「学術」では、いまきいれ総合病院 丸山有子先生より「NICUにおけるファミリーセンタードケア（FCC）と児童虐待予防-NICU卒業児と家族を支える包括的アプローチ」、また内科医会3月例会から、森野勝太郎先生より「肥満症外来の現在地：治療を通じて見えてきたこと」と題し、ご投稿いただきました。貴重なご報告ありがとうございました。

「医師会病院だより」では馬見塚勝郎先生から緩和ケア科の紹介として、緩和ケア面談が終了していれば原疾患を問わず24時間体制で、入院対応しており平均在宅復帰率も全国平均より、高いとのこと。これからも紹介のほどよろしく願います。

「随筆・その他」では、リレー随筆として、「これからの医療と変わらない本質」と題して中村健太郎先生より、ご投稿いただきこれからの医師に求められる能力とは、「知識・技術・マインド」を礎としながら「意思決定能力 対話力 構想力」を発揮することです。私も、改めて肝に銘じたいと思います。ありがとうございました。

「区・支部だより」では、上町・谷山支部の支部会の模様が届いております。結束力の強い各支部の懇親会は、かなり盛り上がったのではないかと思います。ありがとうございました。令和7年度各支部長退任、令和8年度各支部長就任、令和6,7年度各区長退任、令和8,9年度各区長の就任挨拶が届いております。退任された先生方、任期中は色々ご苦労もあったと思いますが、お疲れ様でした。また就任された先生方、何かと大変だと思いますがよろしくお願いいたします。

「鹿市医狂壇」は、「全部（すっばい）」がテーマです。皆様も是非ご一読ください。

来月いよいよ、サッカーワールドカップ北中米大会が開催されます。親善試合で強敵ドイツ、イングランドを破った日本代表は、オランダ、チュニジア、スウェーデンと一次リーグ対戦します、なかなか簡単ではないと思いますが、何とかリーグ突破して念願のベスト8以上の躍進を期待したいと思います。がんばれニッポン！

（編集委員 角 純啓）